

(仮称)ラ・ムー豊橋店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

更地に食料品スーパーを新設する(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	平成27年1月23日		
店舗	店舗名称	(仮称)ラ・ムー豊橋店	
	店舗所在地	豊橋市牟呂町字松崎1番6ほか3筆	
設置者	名称	大黒天物産株式会社	
	代表者	代表取締役 大賀 昭司	
	住所	岡山県倉敷市堀南704番地の5	
	その他	なし	
小売業者	名称	大黒天物産株式会社	
	代表者	代表取締役 大賀 昭司	
	住所	岡山県倉敷市堀南704番地の5	
	その他	なし	
店舗面積	1,830 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	110台 (指針台数: 64台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	128台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	134.4 m ²
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり
		容量	14.07 m ³
施設の運営	営業時間	開店	24時間
		閉店	24時間
	駐車場利用時間帯		24時間(一部午前6時から午後10時)
	駐車場出入口	数	2箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷捌時間帯		午前6時から午後10時まで	
新設する日	平成27年9月24日		

3 参考事項

敷地面積	8,549 m ²		
建築面積	2,816 m ²		
延床面積	2,732 m ²		
業態	食料品専門店		
用途地域	第1種住居地域	—	—
備考			

(仮称)ラ・ムー豊橋店

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	徐行運転・アイリングストップの徹底、遮音壁の設置など
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	売出しなど多くの来客が見込まれる場合は交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F <small>S/1000×A×B×C/D</small>	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
379,075人	1,830 ㎡	1,045	14.40%	1,430 m	70.00%	2.00 人	96 台	0.67	64 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	併設施設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
140 台	30 台	0 台	0 台	0 台	=	110 台	○

b 指針によらない「特別な事情」による算出

該当なし

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

該当なし

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	96 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車 場	種別	1	収容台数	110 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイリングストップ	評価
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	
東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	2箇所	市町村道	8m	あり	32m	-	96	双方向	右左折混合	なし	○
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通整理員等の配置 年間を通して混雑する時期のみ配備											

	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	○	○	○	○	○

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

(仮称)ラ・ムー豊橋店

(ア) 交差点需要率等の検討

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
交差点A	需要率	0.376	0.429	○	0.374	0.435	○
	将来交通量/可能交通容量	0.415	0.555	○	0.468	0.605	○
	ピーク時間帯	14時台			17時台		
交差点B	需要率	0.352	0.373	○	0.395	0.417	○
	将来交通量/可能交通容量	0.482	0.491	○	0.550	0.560	○
	ピーク時間帯	16時台			17時台		
出入口①	需要率	—	—	—	—	—	—
	将来交通量/可能交通容量	—	遅れなし	○	—	遅れなし	○
	ピーク時間帯	16時台			17時台		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

・案内看板の設置による誘導を図り、繁忙時には交通誘導員を配置し、交通の円滑化に努めます。

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗西側入口付近に1箇所、店舗南側に1箇所
駐輪場の収容台数	128 台
標準収容台数	53 台
収容台数根拠	指針の標準収容台数による

位置評価	台数評価
○	○

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	-
位置及び箇所	駐輪場へ止めるように案内をする。		

位置評価	台数評価
—	—

キ 荷捌施設の整備等

(ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	134.4㎡	なし	15分	2台	2台	○

(イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
10:00~11:00	3台	17:00~18:00	21:00~22:00	あり	なし	○

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置なし	チラシ配布	回避	非回避	回避	なし

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	非配備

※非配備の場合等の対応

運転手に注意喚起する。

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
—

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価
○

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(仮称)ラ・ムー豊橋店

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
検討なし	検討なし	要請があれば検討します。

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	なし	従業員が巡回予定

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	22 m	23 m	来客車両	2m	なし	-
西方向	7 m	9 m	廃棄物収集作業	2m	なし	-
南方向	なし	なし	来客車両	なし	なし	-
北方向	なし	なし	設備機器	なし	なし	-

遮音壁の影響	敷地境界と屋上に遮音壁を設置して周辺への騒音影響を低減するようにする。
--------	-------------------------------------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	荷捌き施設の屋内化、段差回避など
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップ、時間調整による搬入待機車削減、騒音防止意識の徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	建物北側の河川の方向の場所に設置
給排気口等からの騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす。アイドリングストップ、徐行運転看板、ハンパの設置
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	定期的なメンテナンスと機器周辺の防音措置の強化

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	該当なし
運営面の騒音配慮	該当なし

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	20	冷却塔	0	給排気口	29	変電施設		浄化槽		ポンプ			
		冷凍機室外機	11	キュービクル	1										
変動騒音	自動車走行	○	後進警報ブザー	○	台車走行	○	BGM			アナウンス					
	ゴミ収集作業	○	シャッター音	○		○									
衝撃騒音	リフト衝撃音	○	台車走行												
建物の構造(高さ)		鉄骨造1階建(7.1m)													

(ア) 等価騒音レベル予測

		東(A)	西(B)	西(C)	西(D)
用途地域		第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	47.9 dB	51.2 dB	51.6 dB	48.7 dB
	評価	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	37.1 dB	40.3 dB	39.0 dB	35.6 dB
	評価	○	○	○	○
昼間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当
夜間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当

※基準値を超えた場合の対応等

<ul style="list-style-type: none"> 機器の通常メンテナンスを遵守し遮音壁の設置、機器の変更を検討します。 開店後に周辺住民から苦情等があった場合は真摯に対応します。

(仮称)ラ・ムー豊橋店

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容					
		東(a)	西(b)	西(c)	西(d)
用途地域		第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
基準値		40dB	40dB	40dB	40dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	35.7dB	39.8dB	38.7dB	32.1dB
	評価	○	○	○	○
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	37.4dB	25.8dB	31.6dB	36.9dB
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	妥当

※基準値を超えた場合の対応等

・開店後に周辺住民から苦情等があった場合は真摯に対応します。

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	毎日の清掃作業を実施し、悪臭・衛生管理に努めます。
衛生問題関係配慮	毎日、グリストラップ清掃を実施します。

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	8.99 m ³	1日	0.381 t	0.10 t/m ³	3.81 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.013 t	0.10 t/m ³	0.13 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.011 t	0.10 t/m ³	0.11 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.037 t	0.01 t/m ³	3.66 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.099 t	0.38 t/m ³	0.26 m ³	変更なし	○
生ごみ用	5.09 m ³	1日	0.309 t	0.55 t/m ³	0.56 m ³	変更なし	○
合計	14.07 m ³	-	-	-	8.53 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等

該当なし

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

該当なし

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

該当なし

(ウ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	なし
ダンボール不使用納品の実施	あり	食品トレーの回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	あり	ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

- ・自動販売機を設置する箇所には、空缶・空き瓶・ペットボトルの回収箱を設置する。
- ・買い物袋持参運動等でレジ袋削減に取り組む。
- ・地元行政のリサイクル計画を指導に基づいて実施します。

(仮称)ラ・ムー豊橋店

(エ) 廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	特になし
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	悪臭対策として汚水マスの洗浄を行う
併設施設からの悪臭防止対策	なし

評価
○

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等	特になし
	環境美化活動	○ 従業員により定期的に店舗敷地内及び周辺の清掃を行う。
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討する	
照明等の配慮	夜間の屋外照明は近隣の住居に直接あたらないように配慮する	
敷地内の緑地計画	敷地境界に緑地485㎡を設置予定。(敷地面積の5.6%)	

評価
○

市町村の意見概要	対応
「駐車需要の充足等交通に係る事項」 ・店舗周辺は通学路となっているため、駐車場出入口など交錯する場所で警備員を配置するなど歩行者の安全確保に配慮してください。	・朝の通学時間帯である8時30分までは出入口の使用を東側1箇所のみとし、出庫車両に対しては一旦停止の表示と歩行者注意の看板を設置して注意喚起をします。また、出入口はドライバーの視界を妨げるものは設置せず歩行者の視認性を確保するようにします。開店時は交通誘導員を配置して安全を図るとともに開店後は状況を見ながら適時安全対策を講じるようにします。
「騒音の発生に係る事項」 ・騒音、振動に係る規制基準を遵守するとともに、近隣住民に配慮し、開店後の状況に対応した騒音対策を実施してください。	・近隣住民に対して騒音防止を徹底するとともに、開店後においても近隣よりの騒音苦情に対しては速やかに対策を講じるようにします。
「その他の事項」 ・店舗周辺は高層住宅が多いため、照明等に関しては周囲に配慮した適切な光害対策を実施してください。	・周辺住民に対して直接照明が照らさないように位置及び向きを配慮して設置するとともに、開店後においても近隣よりの光害苦情に対しては速やかに対策を講じるようにします。

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案
意見なし